

2026年 シラバス

| | | | |
|------|------|----------|---------|
| 履修規定 | 必修課目 | 授業課目 | 理容実習 |
| 履修学年 | 1年 | コース | 理容科 |
| 担当教員 | 鞍成和恵 | 経歴 | 理容師 美容師 |
| 担当教員 | 濱田幸次 | 経歴 | 理容師 美容師 |
| 単位数 | 15 | 授業方法及び場所 | 実習 校内 |

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身につけさせること。
- ・理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具及び布片の消毒等の適切な実施方法を身につけさせること。
- ・各技術の理論に基づき、理容師として必要な技術の習得を目指す。

2. 学習内容

- ・理容技術理論科目と連動して、用具類の取扱い及び手入れ方法を学ぶ。
- ・基本的な姿勢、技術の習得（DVD等の活用にて）
- ・職業訓練の技術としてシャンプーングからセッティング技術を学ぶ。

3. 学習方法

- ・理容師国家試験課題（第1・第2）については、モデルウィッグを使用し、技術の習熟度を合格時レベルに到達するよう時間を設定し、鍛錬する。
- ・各技術において、基本的姿勢、技術、技法を身につける為、モデルウィッグ、もしくは相モデルでの基本実習を反復的に行う。
- ・国家試験課題技術習得に向けた演習授業も適宜取り入れる。

4. 学習評価

- ・用具類において『知識』『持ち方』『操作』の技術習得を評価する。
- ・項目ごとに、到達ライン（時間、手順）を設定し評価する。
- ・実習態度、出欠状況を評価する。

| | | | |
|-----|---------------------------------------------------------|--------------|------------------------------------------|
| 教科書 | 理容実習1・理容実習2 理容技術理論1・理容技術理論2 技術の解説（日本理容美容教育センター発行） | 参考文献 副教材等 | DVD（日本理容美容教育センター発行） オリジナルプリント 実習道具 |
|-----|---------------------------------------------------------|--------------|------------------------------------------|

学習計画

| 月 | 学習項目 | 学習内容・方法 |
|-----------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月 | 教材の確認・名称 教材の取り扱い 基本姿勢 | 教科書・モデルウィッグによる各部名称の確認 理容用具の持ち方・取扱い方・手入れ法 基本足位・落とし腰等の訓練 |
| 5月 | カッティング 理論と技法 | コーム操作・シザーズ開閉練習（反復訓練） モデルウィッグで各技法体験（連続刈・すくい刈等） |
| 6月 | デザインヘア 理論と技法 | モデルウィッグによるブロッキング デザインカットの基礎技術（グラデーションカット） モデルウィッグでのカット講習 |
| 7月 | シャンプーング & リンシング ヘッドマッサージ | シャンプーングの手順・手技（DVD活用） マッサージの手技・目的・効果 モデルウィッグ（相モデル）で各技法体験 |
| 9月 10月 | シェービング 理論と技法 | レザー・ひげブラシの持ち方・扱い方・手入れ法 教科書・モデルウィッグでの皮膚・筋肉の理解 モデルウィッグで各技法体験 |
| 11月 | メンズシェービング レディースシェービング | ネックシェービング・フェイスシェービング 手順と流れ説明 |
| 12月 1月 | ヘアセットイング （基本セット） （ドライヤーセット） | 整髪料の塗布・分髪・ブラッシング基本手技 モデルウィッグによるセットイング技術 モデルウィッグ・相モデルによるドライヤーセット技術 （DVD・オリジナルプリント活用） |
| 2月 3月 | カッティング・ シェービング （復習と検定） | モデルウィッグで各技法検定（時間設定） ・用具の操作検定 ・各運行姿勢検定 ・各運行の理解と技法検定 （準備から終了まで計測を行う：35分計測） |